

■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。

いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。



ラッカー仕上げ

■銀めっき仕上げについて

めっき加工されている金属部分はその性質上、ご使用にともない変色、摩耗します。

また、ゴム製品、石油製品、排気ガス、火山性ガスなどに含まれる硫化ガスにより変色することがありますが、ご使用には影響ありません。

金属部分の腐食、摩耗が激しい場合はお買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

ショールーム TEL.03(5632)5728

テクニカルサポート TEL.03(5632)5524

営業時間 10:00~17:30(日・月曜日、祝日定休)



〈ビュッフェ・クランポン〉
www.buffet-crampon.com/ja



〈ユリウス・カイルヴェルト〉
www.julius-keilwerth.com/ja

※営業時間は天候災害、社会情勢の変化に伴い変更する場合がございます。
最新の情報はブランドウェブサイトをご確認ください。

取り扱い説明書

〈ビュッフェ・クランポン〉〈ユリウス・カイルヴェルト〉

サクソフォーン



**BUFFET
CRAMPON**
PARIS



BUFFET CRAMPON

SAXOPHONE

サクソフォーン



アルトサクソフォーン



テナーサクソフォーン

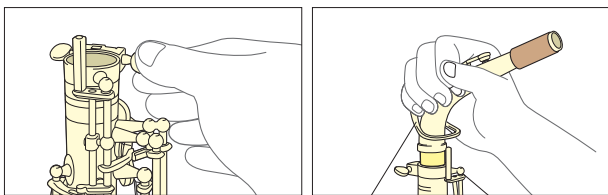


■組み立て

キーに過度な力が加わらないよう、管体とネックを注意しながら組み立てます。また、ネックと管体のキーが正しい位置にくるよう、注意しましょう。

1. 管体とネックを組み立てます。

ネックを固定するネジを緩めて管体にネックを差し込み、ネジを締めます。連結キーをうまく運動させるため、連結キーがオクターブキーの中心にくるようにネックの向きを合わせてください。



オクターブキー 連結キー

▶ ネックと管体の接合部が汚れていると接合がきつくなり、傷つくことがあります。布などできれいに掃除しましょう。

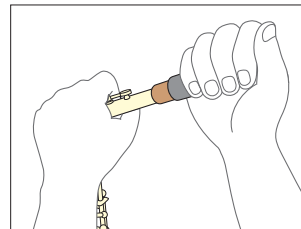


× わるい例

ネックの先を持って組み立てると、ネックが曲がる原因となります。

2. ネックにマウスピースを差し込みます。

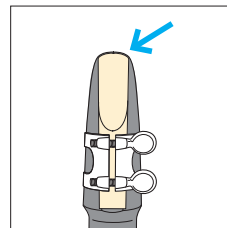
ネック、オクターブキーに過度な力が加わらないように注意します。



きつく感じる時はコルクグリスを塗ってからマウスピースを差し込んでください。

3. リードを取り付けます。

マウスピースにリガチャーを取り付け、あらかじめ湿らせたリードをリガチャーで固定します。リードはマウスピースに対してまっすぐになるようにしてください。



リードの先端は大変薄くなっているため、破損しないよう注意しましょう。



× わるい例

管体部分を持ってマウスピースを差し込むと、ネックが曲がる原因となります。

▶ リードはマウスピースの先端がほんの少し見える位置が標準です。

演奏しないときは、必ずキャップをかぶせておくようにしましょう。

■ピッチの調整

楽器が充分温まった状態で、マウスピースを抜き差ししてピッチを合わせます。

■お手入れ

- ネック内の水分をスワブで取ってください。
- 接合部の汚れを拭き取ってください。
- 管体、キー表面を柔らかい布で拭き、指紋や汚れを取ってください。

このとき、キーやバネに過度な力が加わらないようご注意ください。▶ 針バネや金属部分で怪我をしないように注意してください。

